



2 バックカントリースキーによる遭難に注意

冬山には 常に危険が 潜んでいる

○ 無理のない行動計画と登山計画書の提出

自分の技量に応じた山を選び、不測の事態に備えたゆとりのある日程の登山計画書を作成し、家族や職場等の身近な人に渡しておくほか、最寄りの警察署又は交番・駐在所に提出しましょう。

○ 万全な冬山装備の準備

冬山登山の装備不備は、最悪の事態を招くおそれがあります。

天候の急変にも耐えられる十分な装備と、停滞時に備えた食料、燃料等を用意し、万が一に備えた連絡手段として携帯電話を携行しましょう。

○ 気象情報等の事前確認

入山前には最新の天気予報を確認するとともに、雪崩の危険性についても確認し、慎重に行動しましょう。

○ スキー場の注意事項の遵守

スキー場管理区域外滑走は、滑落や転倒、雪崩、立木への衝突などにより遭難する危険性が高いため、スキー場の注意事項を遵守しましょう。

○ 悪天候時は無理をしない。

暴風雪や大雪などの視界不良時は、登山の延期又は途中で引き返すなど、無理をしないようにしましょう。

令和8年1月

北海道警察北見方面本部